

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- ★「むすび（産霊）」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。
- ★「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあい、未来に向かう「対話と創発の場」です。2008年から毎月開催しています。
- ★私たち一人ひとりが一枚の布を織りあげるように、どこを織っているかは後でのお楽しみで、世の中と関わることで、未来社会を明るいものにできるよう希（ねが）います。
- ★2018年も心ある取組みの“今”をお伝えし、対話を通じて前進しましょう。
皆さまのご参加を心からお待ちしています。

1. 第118回テーマ：「ESDから『学校教育3.0』を展望する

～ NPO視点での大学教育改革の実践から～

2. 日程：平成30年5月24日(木) 午後7時～9時

3. 内容：☆ゲストスピーチ 伊藤 通子(いとう・みちこ)さん

＜東京都市大学 教育開発機構 准教授＞

これからの教育はどう変わるのでしょうか。現代の教育の世界的な潮流として「新しい能力」という概念が強調され、国内では「学校教育3.0」の取り組みが注目されています。NPO法人「持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J) <http://www.esd-j.org/>」の事務局長として、持続可能な開発のための教育(ESD=Education for Sustainable Development)活動の現場に長年携わってきた伊藤通子さんは昨年、理系大学の授業改革を担当する准教授に転身、「教育改革」の実践で奮闘しています。

諏訪哲郎・学習院大学教授が提唱する「学校教育3.0」に共感し、「私が強く思うようになる過程で影響を受けたのがデンマークの教育と、ドイツで見たある学校。富山高専時代の授業づくりの経験を広げ、PBLを日本の教育に取り入れようと奔走しています」と話す伊藤さん。PBL(Problem/Project Based Learning)は、学習者が「現実的な状況の中」に立って「現実の問題」を知り、考え、行動する一連の過程で学ぶ学習です。

伊藤さんの教育実践の経験談をもとに、これからの教育を一緒に考えたいと思います。

☆人むすびカフェ ファシリテーター：角田 知行さん

ワールド・カフェの手法を用いて、ゲストのお話から連想されるアイデアやお互いの想いを対話します。

4. 会場：EIJIPRESS Lab (渋谷区恵比寿南1-9-12 ピトレスビル5F)

5. 参加費：1000円 ※終了後、軽く交流会を開催します。(実費2,000円)お申し込みは23日(水)まで。

お申込はHPまたはメールからどうぞ！

お名前、所属、電話、mailアドレス、懇親会参加をご明記ください。<http://www.terrestrial.co.jp/musubi/>

※記録写真の撮影とその活用をご了承ください。

株式会社テラ・コーポレーション内

“人むすびの場”づくり企画運営チーム：高重
東京都文京区白山1丁目20番4号

ハウス白山ビル4階(〒113-0001)

TEL:03(3815)1981

Email:info@terrestrial.co.jp

※お預かりした個人情報は本ご案内の他に利用しません

